玉野市地域公共交通計画　事業体系案

本計画の位置づけ

本計画は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく法定計画であり、市の基本的な施策の方向性を示す「玉野市総合計画」を上位計画とし、市の各種関連計画とも連携・整合を図り、現計画が令和８年度までであることを踏まえ、玉野市が今後目指すべき公共交通について、まちづくりと一体的に構想し、公共交通を取り巻く多様な課題に対応するための基本計画として、新たに計画を策定するものである。

計画区域：玉野市内全域

計画期間：令和９年４月から

玉野市総合計画

誰もが行ってみたい、
住み続けたいまち
～たまので育つ、TAMANOが育つ～

玉野市都市計画マスタープラン

誰もが行ってみたい、住み続けたいまち
～たまので育つ、TAMANOが育つ～
・・・都市機能が充実した良質な生活空間の確保・・・

玉野市における公共交通の役割

- 利便性の高い公共交通により移動手段の維持・確保
- 公共施設の再編整備に伴う持続可能なまちづくりへの寄与
- 都市拠点とコミュニティ拠点が連携するコンパクト・プラス・ネットワーク型都市形成への寄与
- 快適で活力ある都市空間づくりへの寄与

本市の地域公共交通を取り巻く状況

- 利用者減少に伴う交通事業者の経営悪化や担い手不足により、現状のサービスを持続的に提供できなくなる恐れがある。
- 利用者減少に伴う交通事業者の収入減少や人口密度の低下による輸送効率の悪化等により、公共交通を維持するための財政支出の過度な増加が懸念される。
- 高齢者をはじめとする交通弱者の外出機会の減少が懸念される。
- 小中学校再編に伴う通学手段の確保が必要である。

本市の地域公共交通の課題

課題１　社会情勢や市内施設の再編に合わせた公共交通網の見直し
- 人口減少や高齢化といった人口構造の変化により、地域公共交通のニーズが高まることが予想される。
- 小中学校の再編により、児童・生徒達の通学手段として利用しやすいよう公共交通網の見直しが必要である。

課題２　公共サービスの持続可能性の確保
- 交通事業者は担い手不足の状況にあり、既存の担い手の待遇改善や新たな担い手の確保・育成に取り組む必要がある。
- 公共交通の利用者が減少するなかにおいても、過度に安価な運賃設定となっているサービスについては、持続可能性確保のため見直しにより収支改善に努める必要がある。

課題３　公共交通を利用しやすい環境の構築
- 路線バス、コミュニティバス（シーバス）、デマンド型乗合タクシー（シータク）は、互いに補完しあって地域の移動ニーズに対応しているものの、サービス内容が複雑化し、非常に理解が難しいものになっている。
- 免許返納後の高齢者や免許を持たない子ども、さらに観光客など、これまで玉野市の公共交通を利用しなかった人でも、新たな利用者としてスムーズに使い始められる環境構築への取組を、引き続き進めていく必要がある。

課題４　新しい技術や制度の研究・活用
- 自動運転など、運行の効率化や担い手不足の解消等、現在の玉野市の公共交通の課題解決につながる技術もあることから、研究を進めるとともに、実装に向けた検討が必要である。

地域公共交通の将来像（目指す姿）

**選ばれるまち
『たまの』を支える
地域公共交通**

基本方針（あるべき姿と目標）

基本方針１
まちづくりと連携した地域公共交通の質向上

目標

目標1-1：岡山市との間の交流を支える広域幹線の利用者の増加

目標1-2：市民の外出率の向上（※「玉野市の公共交通に関するアンケート調査」）

目標1-3：日常生活における移動の選択肢として公共交通を挙げる人の割合（※「玉野市の公共交通に関するアンケート調査」）

基本方針２
公共交通の利用者拡大

目標

目標2-1：利用者層の拡張による乗降者数の増加

目標2-2：使いやすい新たなシステムの導入による利用機会の拡大

目標2-3：バリアフリー化の推進

基本方針３
みんなで共に考え・使い・支える地域公共交通

目標

目標3-1：行政による公共交通に関する定期的な情報提供

目標3-2：公共交通の担い手の確保

玉野市地域公共交通計画　事業体系案

地域公共交通の未来像	基本方針（あるべき姿）	目標を達成するための事業		目標1-1	目標1-2	目標1-3	目標2-1	目標2-2	目標2-3	目標3-1	目標3-2	全体目標1	全体目標2
選ばれるまち『たまの』を支える地域公共交通	1 まちづくりと連携した地域公共交通の質向上	事業1	岡山市との間の広域幹線（鉄道・バス）の維持確保	○								○	○
		事業2	施設再編等を踏まえた効率的な市内路線網の確立		○							○	○
		事業3	路線網の見直しを踏まえた乗り継ぎ環境の整備		○							○	○
		事業4	福祉施設との連携			○						○	○
		事業5	玉野市都市計画マスタープランなどとの連携			○						○	○
		事業6	スクールバス等の移送資源を活用した交通空白地域の解消				○					○	○
	2 公共交通の利用者拡大	事業7	シータク等の送迎としての活用				○					○	○
		事業8	公共交通の魅力向上に向けた取組の推進				○					○	○
		事業9	公共交通サービスのデジタル化の推進（アプリ予約等）					○				○	○
		事業10	自動運転技術の検討					○				○	○
		事業11	観光施策・産業振興との連携（来訪者が使いやすいシステムの構築）					○				○	○
		事業12	人と環境にやさしい車両・施設の推進						○			○	○
	3 みんなで共に考え・使い・支える地域公共交通	事業13	分かりやすい情報提供媒体の整備							○		○	○
		事業14	ターゲットを絞ったモビリティ・マネジメントの実施							○		○	○
		事業15	公共ライドシェアの導入検討								○	○	○
		事業16	福祉やボランティア輸送サービスとの連携								○	○	○
		事業17	担い手確保に向けた取組の推進								○	○	○

全体目標

目標1　市が関与する公共交通サービスの利用者数の維持

目標2　移動手段確保に係る財政負担額の抑制